

## 参加者の感想

愛知県内の軍需工場施設をまのあたりにできてよかったです。戦争法が施行された今、国は自信を持って進めたい施設であると思われました。県に対し申し入れをし、軍事空港にさせないことが大切です。また参加したいです。ありがとうございました。

(加納)

守山基地の隊員に「スーダン派遣隊員が無事に帰還するように祈っています」・朝鮮戦争当時日本人が100人程度死んでいる。・小牧基地でタッチ&ゴーをやっている。民間機も。・三菱の軍需生産の社員は穏やかな顔をしている。・ブルーインパルス、昨年と今年は水平飛行だけに終わった。などの話が印象に残りました。戦争・基地・軍隊のない世界を早く実現できるように。

(H.T)

愛知県は軍需産業の盛んだということは何となく知っている程度でしたが、今回参加して様々な施設を見て、詳しい説明を聞き、自分が住んでいるすぐそばで実際に武器が作られ、武器が輸送され、自衛官も出撃しているのだということが実感できました。生活の中のリアリティのひとつとして、今後もいろいろ調べ、考えていきたいと思います。ありがとうございました。

(宮坂)

今日はこうした企画をくんでいただきありがとうございました。今までいくつかは見学したことがありますが、改めてツアーに参加して、目で見て肌で体感することの大事さを痛感しました。私の居住区は名古屋市北区で、基地と軍需産業に囲まれて住んでおりますが、日常的にはなかなか切実なものとして受けとめられず、非常に有意義な企画でした。戦争法が施行され、新たな展開の中で陸上自衛隊の役割が拡大強化、小牧基地強化が進められようとしている実態をしっかり学ぶ、そして声をあげていくその闘いの力になりました。

(岩中)

あいまいなイメージだったのが実物を見て現実のものとなりました。基地と生活の場のあまりの近さにオドロキました。住宅、保育園、学校とが道一つなんてひどい！科学技術の粋を集めて殺し破壊する武器を作っている企業に恐ろしいものを感じました。きちんとわかりにくいところもあったので、飯島先生の講演会があるといいと思います。名古屋で闘いをするのが大切だと思いました。また、別の方面の見学会があれば参加します。

(青柳)

日頃、見ることはできない施設を見ることでより身近に感じました。表からはなかなかその実態を知ることができない仕組みになっているので、市民として意識的に事実を探っていけないといけないとわかりました。金安さんの申し入れの内容がとても人間味があり、尚且つ真に迫る内容だと知って、まず関係づくりが重要でそこから想いを伝えることが出来るんだと思うと思いました。沖縄につながる

愛知、中東、アフリカにつながる愛知。地方自治の問題としても考えていこうと思います。

(大熊)

大変勉強になりました。弾薬庫が自然の山を利用して造られていて、あんな大きい施設だとは想像もしておらず、びっくりしました。知らないこと

だらけでこれからも勉強せねばと思います。春日井駐屯地で言葉を交わした隊員さんたちがどうか元気でいてくれるように私も行動をしていかなければと感じました。ありがとうございました。

(上谷)

基地や弾薬庫のそばに民家がある、小学校などの生活の場がある・・・沖縄と同じじゃないか！今まで関心がありながら具体的なことを知らなくて申し訳ないです。よくわかりました。そして、みなさんのような運動を長く支えている団体が本当に大事だと。愛知のものづくりは戦争に直接結びつくものを作っていたんだ。東海市も新日鉄からの降下煤塵の被害がひどく、地域の人達と闘っています。東海市で毎金5時から6時まで、「幸せなら手をつなごう」の替え歌を歌って(街頭宣伝で)います。

(堀本)

